Dell™ Latitude™ ATG E6400
セットアップおよびクイックリファレンスガイド

本書には、お使いのコンピュータの機能概要、仕様、クイックセットアップ、ソフトウェア、およびトラブルシューティングの情報が記載されています。オペレーティングシステム、デバイス、およびテクノロジの詳細については、support.jp.dell.com の『Dell テクノロジガイド』を参照してください。

モデル PP27L

メモ、注意、および警告

メモ： コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

注意： ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

警告：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

Macrovision 製品通知

この製品には、Macrovision Corporation および他の権利所有者が所有する一定の米国特許権および知的所有権によって保護されている著作権保護技術が組み込まれています。本製品の著作権保護テクノロジは Macrovision Corporation に使用権限があり、同社の許可がない限り、家庭内および限定的な表示にのみ使用することを目的としています。リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

モデル PP27L

2008 年 5 月　　P/N D006C　　Rev. A00

目次

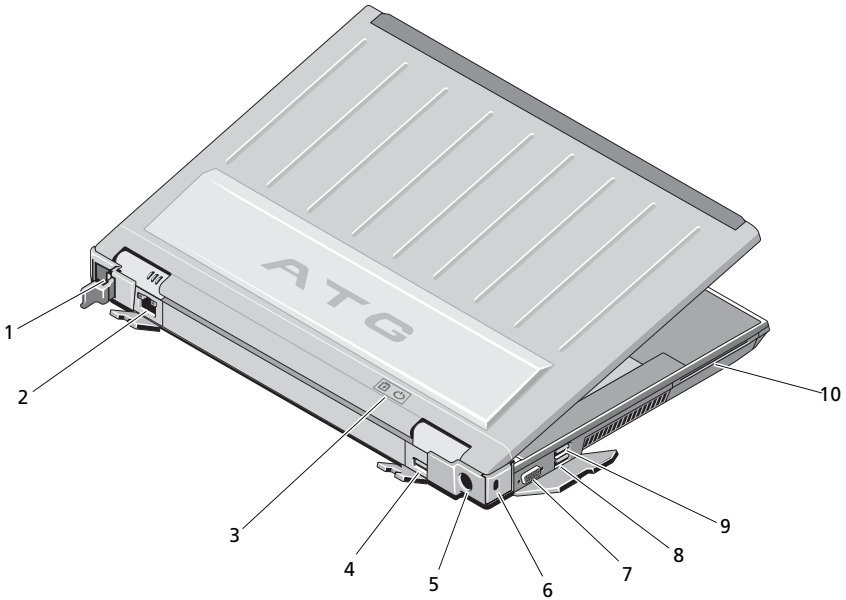
1

お使いのコンピュータについて

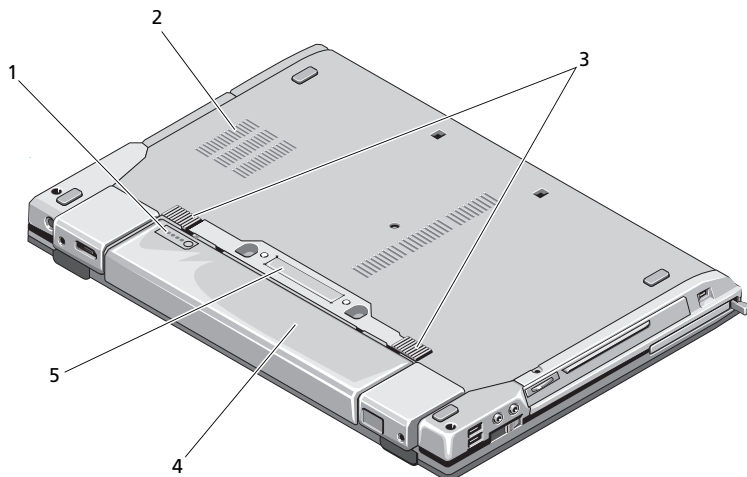
正面図

1	マイク（オプション）	2	カメラライト（オプション）
3	カメラ（オプション）	4	ディスプレイラッチ

5	ディスプレイと（オプションの）タッチスクリーン	6	キーボードステータスライト
7	ボリュームコントロールボタン	8	電源ボタン
9	USB コネクタ（2）	10	Wi-Fi Catcher™ ネットワークロケータ
11	ワイヤレススイッチ	12	オーディオコネクタ（2）
13	右スピーカー	14	メディアベイ（光学式ドライブ搭載）
15	指紋リーダー（オプション）	16	PC カードスロット
17	IEEE 1394a コネクタ	18	非接触スマートカードリーダー
19	SD メモリカードリーダー	20	タッチパッド
21	ディスプレイリリースラッチ	22	タッチパッドボタン / トラックスティックボタン
23	左スピーカー	24	トラックスティック
25	キーボード	26	デバイスステータスライト
27	環境照明センサー		

背面図

1	RJ-11 コネクタ（オプション）	2	RJ-45 コネクタ
3	バッテリー / 電源ライト	4	マルチモード DisplayPort
5	AC アダプタ	6	セキュリティケーブルスロット
7	ビデオコネクタ	8	eSATA/USB コネクタ
9	USB PowerShare コネクタ	10	スマートカードリーダー

警告：通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。Dell™ コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。コンピュータが熱を持つとファンが作動します。ファンからノイズが聞こえる場合がありますが、これは一般的な現象で、ファンやコンピュータに問題が発生したわけではありません。

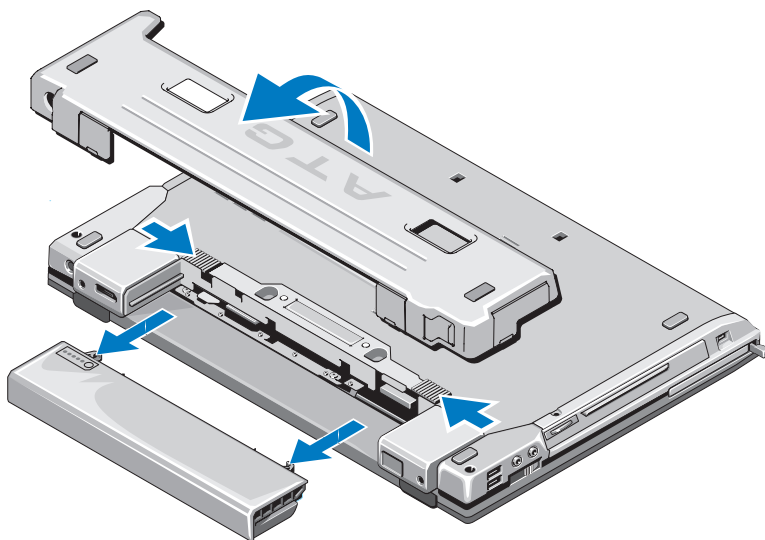
底面図

1	バッテリー充電ゲージ	2	通気孔
3	バッテリーリリースラッチ	4	バッテリー
5	ドッキングデバイスコネクタ		

メモ：コンピュータをドッキングする前に、ドッキングデバイスコネクタの保護パネルを取り外してください。

バッテリーの取り外し

警告 ： 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の『安全にお使いいただくために』の指示に従ってください。

警告 : 適切でないバッテリーを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリーは、必ずデルが販売している専用のものをお使いください。バッテリーはお使いの Dell コンピュータで動作するように設計されています。お使いのコンピュータに別のコンピュータのバッテリーを使用しないでください。

警告 ： この手順を開始する前に、コンピュータの電源を切り、AC アダプタを電源コンセントおよびコンピュータから取り外して、モデムを壁のコネクタおよびコンピュータから取り外し、コンピュータからその他のすべての外付けケーブルを外します。

ワイヤレススイッチおよび Dell™ Wi-Fi Catcher™ ネットワークロケータ

ワイヤレススイッチアイコン

Dell Wi-Fi Catcher ネットワークロケータアイコン

ワイヤレススイッチを使用して、ワイヤレスデバイスを有効または無効にします。Wi-Fi Catcher ネットワークロケータを使用して、ネットワークを検出します。インターネット接続の詳細については、16 ページの「インターネットへの接続」を参照してください。

2

コンピュータのセットアップ

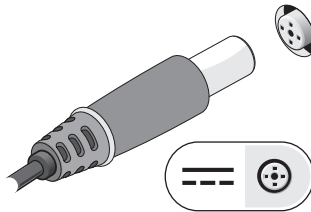
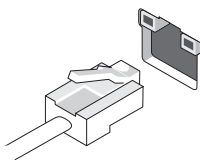
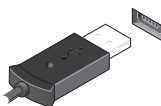
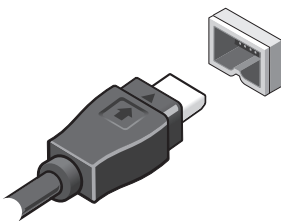
クイックセットアップ

警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の『安全にお使いいただくために』の指示に従ってください。

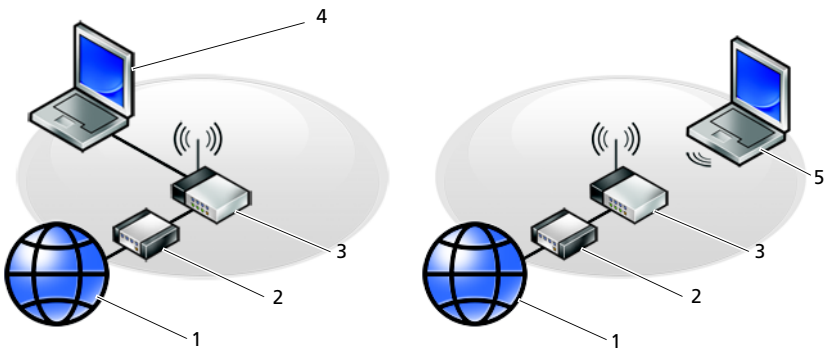
警告 : AC アダプタは世界各国のコンセントに適合します。ただし、電源コネクタおよび電源タップは国によって異なります。互換性のないケーブルを使用したり、ケーブルを不適切に電源タップまたはコンセントに接続したりすると、火災の原因になったり、装置に損傷を与えたりする恐れがあります。

注意 : AC アダプタケーブルをコンピュータから外す場合、ケーブルの損傷を防ぐため、コネクタを持ち(ケーブル自体を引っ張らないでください)、しっかりと、かつ慎重に引き抜いてください。AC アダプタケーブルをまとめる場合、ケーブルの損傷を防ぐため、AC アダプタのコネクタの角度に従ってください。

メモ : 次の手順で取り上げるデバイスの一部はオプションの場合があります。

1 AC アダプタをコンピュータの AC アダプタコネクタに接続し、電源コンセントに差し込みます。

2　ネットワークケーブルを接続します。

3　マウスやキーボードなどの USB デバイスを接続します。

4　DVD プレーヤーなどの IEEE 1394 デバイスを接続します。

5　コンピュータのディスプレイを開いて電源ボタンを押し、コンピュータの電源を入れます。

メモ：カードを取り付けたり、コンピュータをドッキングデバイスやプリンタなどの外付けデバイスに接続したりする前に、最低 1 回はコンピュータの電源を入れシャットダウンする操作を行うようお勧めします。

6 インターネットに接続します。詳細については、16 ページの「インターネットへの接続」を参照してください。

1	インターネットサービス	2	ケーブルモデムまたは DSL モデム
3	ワイヤレスルータ	4	**有線**接続のノートパソコン
5	**ワイヤレス**ネットワーク接続のノートパソコン		

インターネットへの接続

 メモ : ISP および ISP が提供するオプションは国によって異なります。

インターネットに接続するには、モデムまたはネットワーク接続、および ISP（インターネットサービスプロバイダ）が必要です。**ダイヤルアップ接続をお使いの場合、**インターネット接続をセットアップする前に、コンピュータのモデムコネクタおよび壁の電話コンセントに電話線を接続します。**DSL またはケーブル（衛星）モデム接続をお使いの場合、**セットアップの手順についてはご契約の ISP または携帯電話サービスにお問い合わせください。

インターネット接続のセットアップ

デスクトップ上にある ISP 提供のショートカットを使用してインターネット接続をセットアップするには、次の手順を実行します。

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

2 Microsoft® Windows® デスクトップで ISP のアイコンをダブルクリックします。

3 画面の手順に従ってセットアップを完了します。

デスクトップに ISP のアイコンがない場合、または別の ISP を使ってインターネット接続をセットアップしたい場合は、下記の該当する項の手順を実行します。

 メモ : インターネットに接続できない場合は、『Dell テクノロジガイド』を参照してください。過去にインターネットに正常に接続できていた場合、ISP のサービスが停止している可能性があります。サービスの状態について ISP に確認するか、後でもう一度接続してみてください。

 メモ : ご契約の ISP 情報をご用意ください。ISP に登録していない場合は、インターネット接続ウィザードをご利用ください。

Microsoft® Windows Vista® オペレーティングシステム

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

2 Windows Vista スタートボタン → **コントロールパネル**をクリックします。

3 **ネットワークとインターネット**の**インターネットに接続する**をクリックします。

4 **インターネットへの接続**ウィンドウで、希望する接続方法によって、**ブロードバンド（PPPoE）**または**ダイヤルアップ**をクリックします。

- DSL、衛星モデム、ケーブルテレビのモデム、または Bluetooth ワイヤレステクノロジ接続を使用する場合は、**ブロードバンド**を選択します。
- ダイヤルアップモデムまたは ISDN を使用する場合は、**ダイヤルアップ**を選択します。

メモ：どの種類の接続を選んだらよいかわからない場合は、**選択についての説明を表示します**をクリックするか、ご契約の ISP にお問い合わせください。

5 画面の指示に従って、ISP から提供されたセットアップ情報を使用してセットアップを完了します。

Microsoft Windows® XP

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2 **スタート** → **Internet Explorer** → **インターネットに接続**をクリックします。
3 次のウィンドウで、該当する以下のオプションをクリックします。
   - ISP と契約していない場合は、**インターネット サービス プロバイダ（ISP）の一覧から選択する**をクリックします。
   - ISP からセットアップ情報を入手済みであるが、セットアップ CD を受け取っていない場合は、**接続を手動でセットアップする**をクリックします。
   - セットアップ CD を持っている場合は、**ISP から提供された CD を使用する**をクリックします。
4 **次へ**をクリックします。

   手順 3 で**接続を手動でセットアップ**するを選んだ場合は、手順 5 に進みます。それ以外の場合は、画面の手順に従ってセットアップを完了します。

メモ：どの種類の接続を選んだらよいかわからない場合は、ご契約の ISP にお問い合わせください。

5 **インターネットにどう接続しますか？**で該当するオプションをクリックし、**次へ**をクリックします。
6 ISP から提供されたセットアップ情報を使って、セットアップを完了します。

新しいコンピュータへの情報の転送

Microsoft® Windows Vista® オペレーティングシステム

1 Windows Vista スタートボタン をクリックし、**ファイルと設定を転送する** → **Windows Easy Transfer をスタートする**をクリックします。
2 **ユーザーアカウント制御**ダイアログボックスで、**続行**をクリックします。
3 **新しい転送を開始する**または**実行中の転送を続行する**をクリックします。
4 Windows Easy Transfer ウィザードの画面の指示に従います。

Microsoft Windows® XP

Microsoft Windows XP には、データを元のコンピュータから新しいコンピュータに転送する、ファイルと設定の転送ウィザードがあります。

新しいコンピュータにネットワーク接続またはシリアル接続を介してデータを転送したり、書き込み可能 CD などのリムーバブルメディアにデータを保存したりできます。

メモ：古いコンピュータから新しいコンピュータに情報を転送するには、シリアルケーブルを 2 台のコンピュータの入力 / 出力（I/O）ポートに直接接続します。

2 台のコンピュータで直接ケーブルを設置する手順については、マイクロソフトサポート技術情報 305621「How to Set Up a Direct Cable Connection Between Two Computers in Windows XP」を参照してください。この情報は、国によっては使用できない場合があります。

新しいコンピュータに情報を転送するには、ファイルと設定の転送ウィザードを実行する必要があります。

オペレーティングシステムメディアを使用してファイルと設定の転送ウィザードを実行する場合

メモ：この手順では、『オペレーティングシステム』メディアが必要です。このメディアはオプションなので、出荷時にすべてのコンピュータに付属しているわけではありません。

新しいコンピュータに情報を転送するには、次の手順を実行します。

1 ファイルと設定の転送ウィザードを開きます。これには、**スタート** → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** → **ファイルと設定の転送ウィザード**をクリックします。

2 **ファイルと設定の転送ウィザードの開始**画面が表示されたら、**次へ**をクリックします。

3 **これはどちらのコンピュータですか？**画面で、**転送先の新しいコンピュータ** → **次へ**をクリックします。

4 **Windows XP CD がありますか？**画面で **Windows XP CD からウィザードを使います** → **次へ**をクリックします。

5 **今、古いコンピュータに行ってください**画面が表示されたら、古いコンピュータまたはソースコンピュータに移動します。このときに、**次へ**をクリックしないでください。

古いコンピュータからデータをコピーするには、次の手順を実行します。

1 古いコンピュータで、Windows XP の『オペレーティングシステム』メディアを挿入します。

2 **Microsoft Windows XP へようこそ**画面で、**追加のタスクを実行する**をクリックします。
3 **何を転送しますか?**画面で、**ファイルと設定を転送する** → **次へ**をクリックします。
4 **これはどちらのコンピュータですか?**画面で、**転送元の古いコンピュータ** → **次へ**をクリックします。
5 **転送方法を選択してください**画面で希望の転送方法をクリックします。
6 **何を転送しますか?**画面で転送する項目を選択し、**次へ**をクリックします。

   情報がコピーされた後、ファイルと設定の**収集フェーズを処理しています**画面が表示されます。

7 **完了**をクリックします。

新しいコンピュータにデータを転送するには、次の手順を実行します。

1 新しいコンピュータの**今、古いコンピュータに行ってください**画面で、**次へ**をクリックします。
2 **ファイルと設定はどこにありますか?**画面で設定とファイルの転送方法を選択し、**次へ**をクリックします。

   収集されたファイルと設定が新しいコンピュータに適用されます。

3 **完了**画面で**完了**をクリックして、新しいコンピュータを再起動します。

オペレーティングシステムメディアを使用せずにファイルと設定の転送ウィザードを実行する場合

『オペレーティングシステム』メディアを使用せずに、ファイルと設定の転送ウィザードを実行するには、バックアップイメージファイルをリムーバブルメディアに作成できるウィザードディスクを作成する必要があります。

ウィザードディスクを作成するには、Windows XP を搭載した新しいコンピュータを使用して次の手順を実行します。

1 ファイルと設定の転送ウィザードを開きます。これには、**スタート** → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** → **ファイルと設定の転送ウィザード**をクリックします。
2 **ファイルと設定の転送ウィザードの開始**画面が表示されたら、**次へ**をクリックします。
3 **これはどちらのコンピュータですか?**画面で、**転送先の新しいコンピュータ** → **次へ**をクリックします。
4 **Windows XP CD がありますか?**画面で、**次のドライブでウィザードディスクを作成する** → **次へ**をクリックします。
5 書き込み可能 CD などのリムーバブルメディアを挿入し、**OK** をクリックします。

6 ディスク作成が完了したら、今、古いコンピュータに行ってくださいというメッセージが表示されますが、**次へ**は**クリックしないでください**。

7 古いコンピュータに移動します。

古いコンピュータからデータをコピーするには、次の手順を実行します。

1 古いコンピュータにウィザードディスクを挿入し、**スタート** → **ファイル名を指定して実行**をクリックします。

2 **ファイル名を指定して実行**ウィンドウの**名前**フィールドに **fastwiz**（該当するリムーバブルメディア上）へのパスを指定し、**OK** をクリックします。

3 **ファイルと設定の転送ウィザードの開始**画面で、**次へ**をクリックします。

4 **これはどちらのコンピュータですか？**画面で、**転送元の古いコンピュータ** → **次へ**をクリックします。

5 **転送方法を選択してください**画面で希望の転送方法をクリックします。

6 **何を転送しますか？**画面で転送する項目を選択し、**次へ**をクリックします。

   情報がコピーされた後、ファイルと設定の**収集フェーズを処理しています**画面が表示されます。

7 **完了**をクリックします。

新しいコンピュータにデータを転送するには、次の手順を実行します。

1 新しいコンピュータの**今、古いコンピュータに行ってください**画面で、**次へ**をクリックします。

2 **ファイルと設定はどこにありますか？**画面で設定とファイルの転送方法を選択し、**次へ**をクリックします。画面の指示に従います。

   ウィザードは収集されたファイルと設定を読み取り、それらを新しいコンピュータに適用します。

   設定とファイルがすべて適用されると、**収集フェーズを処理しています**画面が表示されます。

3 **完了**をクリックして、新しいコンピュータを再起動します。

メモ：この手順の詳細については、**support.jp.dell.com** で文書番号 154781（「What Are The Different Methods To Transfer Files From My Old Computer To My New Dell™ Computer Using the Microsoft® Windows® XP Operating System?」）を検索してください。

メモ：国によっては、Dell™ Knowledge Base 文書にアクセスできない場合があります。

3

仕様

メモ：提供される内容は地域により異なる場合があります。コンピュータの構成の詳細については、**スタート** → **ヘルプとサポート**をクリックし、コンピュータに関する情報を表示するためのオプションを選択してください。

プロセッサ	
プロセッサタイプ	Intel® Core™ 2 Duo
L1 キャッシュ	32 KB（インストラクションごと）、32 KB データキャッシュ（コアごと）
L2 キャッシュ	共有 3 MB または 6 MB
フロントサイドバスの周波数	1067 MHz

システム情報	
チップセット	Intel GM45
データバス幅	64 ビット
DRAM バス幅	64 ビット
プロセッサアドレスバス幅	36 ビット
フラッシュ EPROM	SPI 32 M ビット

PC カード	
メモ：PC カードスロットは、PC カード専用に設計されています。ExpressCard はサポートしません。	
カードバスコントローラ	Ricoh R5C847
PC カードコネクタ	1（タイプ I または タイプ II カード 1 枚に対応）
サポートするカード	3.3 V および 5 V
PC カードコネクタサイズ	80 ピン

SD メモリカードリーダー	
サポートするカード	SD、SDIO、SD HC、ミニ SD（アダプタ付） MMC、MMC+、Mini MMC（アダプタ付）
メモリ	
メモリモジュールコネクタ	DIMM ソケット x 2
メモリモジュールの容量	512 MB（1 DIMM） 1 GB（1 DIMM または 2 DIMM） 2 GB（1 DIMM または 2 DIMM） 3 GB（2 DIMM） 4 GB（1 DIMM または 2 DIMM） 8 GB（2 DIMM、64 ビット Windows XP または Windows Vista オペレーティングシステムが必要）
メモリのタイプ	DDR2 800 MHz（チップセットやプロセッサの組み合わせでサポートされている場合）、非 ECC メモリのみ
最小メモリ	512 GB
最大搭載メモリ	8 GB（64 ビット Windows XP または Windows Vista オペレーティングシステムが必要）

メモ：デュアルチャネル帯域幅の機能を活用するには、両方のメモリソケットを使用し、メモリサイズを一致させる必要があります。

メモ：メモリの一部はシステムファイル用に確保されているため、表示される使用可能なメモリ容量は、取り付けられているメモリの最大容量を反映しません。

メモ：Intel® Active Management Technology（iAMT）を有効にするには、メモリコネクタ「A」に DIMM を取り付ける必要があります。メモリコネクタの詳細については、**support.jp.dell.com** でお使いのコンピュータの『サービスマニュアル』を参照してください。iAMT の詳細については、**support.jp.dell.com** で『Dell™ Systems Management Administrator's Guide（Dell™ システム管理者ガイド）』を参照してください。

ポートとコネクタ	
オーディオ	マイクコネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカコネクタ
IEEE 1394a	4 ピンコネクタ
ミニカードのサポート（内蔵拡張スロット）	WLAN 専用ハーフサイズミニカードスロット x 1
	WWAN 専用フルサイズミニカードスロット（モバイルブロードバンド）x 1
	WPAN 専用フルサイズミニカードスロット（Bluetooth® ワイヤレステクノロジまたは Ultra Wideband（UWB））x 1
	メモ：WWAN または WPAN フルサイズミニカードスロットは Intel® Flash Cache にも使用できます。
モデム	RJ-11 コネクタ
ネットワークアダプタ	RJ-45 コネクタ
USB、USB PowerShare、eSATA	4 ピン USB 2.0 対応コネクタ x 4
	メモ：お使いのコンピュータは 4 台の USB デバイスをサポートできます。USB コネクタの 1 つは、サードパーティ製デバイス（携帯電話など）に電源を供給できる USB PowerShare コネクタです。eSATA コネクタとして使用できる USB コネクタもあります。
eSATA	eSATA/PowerShare USB コネクタ
ビデオ	VGA コネクタ
	マルチモード DisplayPort

通信	
モデム	内蔵モデム（オプション）
ネットワークアダプタ	システム基板上の 10/100/1000 Ethernet LAN
ワイヤレス	WLAN ハーフサイズミニカード、WWAN および WPAN フルサイズミニカード
	Bluetooth® ワイヤレステクノロジ
	UWB テクノロジ
モバイルブロードバンド	フルサイズミニカード
GPS	モバイルブロードバンドフルサイズミニカードにより対応

ビデオ	
ビデオタイプ	システム基板に内蔵、ハードウェア加速
データバス	内蔵ビデオ
ビデオコントローラ	内蔵ビデオ：Intel Graphics Media Accelerator x 4500 HD
ビデオメモリ：	
グラフィックスメモリ総量：	
Windows XP：	最大 512 MB（総システムメモリの 1 GB ～ 1.5 GB 未満）
	最大 768 MB（総システムメモリの 1.5 GB ～ 2 GB 未満）
	最大 1 GB（総システムメモリの 2 GB 以上）
Windows Vista：	最大 253 MB（総システムメモリの 1 GB）
	最大 552 MB（総システムメモリの 1.5 GB）
	最大 808 MB（総システムメモリの 2 GB）
	最大 1320 MB（総システムメモリの 3 GB）
	最大 1832 MB（総システムメモリの 4 GB）
ビデオ出力	VGA およびマルチモード DisplayPort

オーディオ	
オーディオタイプ	2 チャネル HD オーディオ
オーディオコントローラ	IDT 92HD71B
ステレオ変換	24 ビット（デジタル変換、アナログ変換）
インタフェース：	
内蔵	HD オーディオコーデック
外付け	マイク入力コネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカコネクタ
スピーカー	1 W 4 Ω スピーカ x 2
内蔵スピーカアンプ	1 W チャネル（4Ω）
内蔵マイク	単一デジタルマイク
ボリュームコントロール	ボリュームコントロールボタンおよびプログラムメニュー

ディスプレイ	
タイプ（アクティブマトリックス TFT）	WXGA
有効領域（X/Y）	303.36 x 189.6
寸法：	
高さ	207 mm
横幅	320 mm
対角線	358.14 mm
最大解像度：	
WXGA	1280 x 800 ピクセル
リフレッシュレート	60 Hz
動作角度	0°~（閉じた状態）～ 160°（ドッキングされているとき以外）
可視角度：	
水平方向	40/40°
垂直方向	15/30°
ピクセルピッチ：	
WXGA	0.2370 x 0.2370
標準消費電力（背面ライト付きパネル）	
WXGA	最大 10.05 W

キーボード	
キー数	83（アメリカ および カナダ）、84（ヨーロッパ）、87（日本）
レイアウト	QWERTY/AZERTY/ 漢字
サイズ	フルサイズ（19 mm キーピッチ）

タッチパッド	
X/Y 位置解像度 （グラフィックステーブルモード）	240 cpi
寸法：	
横幅	73.0 mm（センサー感知領域）
高さ	42.9 mm の長方形

バッテリー	
タイプ	12 セル「スマート」リチウムイオンプリズムスライス（84 Whr） 9 セル「スマート」リチウムイオン（85 Whr） 6 セル「スマート」リチウムイオン（56 Whr） 4 セル「スマート」リチウムイオン（35 Whr）
寸法：	
4 セルおよび 6 セルリチウムイオンバッテリー：	
奥行き	206 mm
高さ	19.8 mm
横幅	47.0 mm
9 セルリチウムイオンバッテリー：	
奥行き	208 mm
高さ	22.3 mm
横幅	68.98 mm
12 セルリチウムイオンスライスバッテリー：	
奥行き	14.48 mm
高さ	217.24 mm
横幅	322.17 mm
重量：	
4 セルプライマリバッテリー	0.24 kg
6 セルプライマリバッテリー	0.33 kg
9 セル大容量バッテリー	0.51 kg
12 セルスライスバッテリー	0.85 kg
電圧：	
4 セルバッテリー	DC 14.8 V
6 セルおよび 9 セルバッテリー	DC 11.1 V
12 セルスライスバッテリー	DC 14.8 V

メモ：バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費するような状況ではかなり短くなる可能性があります。

バッテリー（続き）	
充電時間（概算）：	約 1 時間の標準充電モードで 80% 充電
電源が切れている場合	約 4 時間の Dell™ ExpressCharge™ モードで 100% 充電
寿命（概算）	1 年間
温度範囲：	
動作時	0° ～ 40°C
保管時	–10° ～ 65°C
コイン型電池	CR-2032

AC アダプタ	
入力電圧	AC 100 ～ 240 V
入力電流（最大）	1.5 A
入力周波数	50 ～ 60 Hz
温度範囲：	
動作時	0° ～ 35°C
保管時	–40° ～ 65°C
PA-12 65 W トラベル AC アダプタ：	
出力電圧	DC 19.5 V
出力電流	3.34 A
高さ	15 mm
横幅	66 mm
奥行き	127 mm
重量	0.29 kg
PA-10 90 W D シリーズ AC アダプタ：	
出力電圧	DC 19.5 V
出力電流	4.62 A
高さ	32 mm
横幅	60 mm
奥行き	140 mm
重量	0.425 kg

AC アダプタ（続き）	
PA-3E 90 E シリーズ AC アダプタ：	
出力電圧	DC 19.5 V
出力電流	4.62 A
高さ	15 mm
横幅	70 mm
長さ	147 mm
重量	0.345 kg

指紋リーダー（オプション）	
タイプ	UPEK TCS3 TouchStrip™ 指紋センサー、CMOS のアクティブ静電容量ピクセル感知テクノロジ搭載

寸法	
高さ	40.5 mm
横幅	342 mm
奥行き	251.7 mm
重量	2.78 kg（UMA グラフィック、6 セルバッテリー、ポートカバー、オプティカルドライブを取り付けた状態）
	2.65 kg（UMA グラフィック、6 セルバッテリー、ポートカバー、エアベイを取り付けた状態）

環境	
温度範囲：	
動作時	0° ～ 35°C
保管時	–40° ～ 65°C
相対湿度（最大）：	
動作時	10 ～ 90%（結露しないこと）
保管時	5 ～ 95%（結露しないこと）
最大振動（ランダム振動スペクトラムを使用してユーザー環境をシミュレート）：	
動作時	0.66 GRMS
保管時	1.3 GRMS

環境 （続き）	
最大耐久衝撃（動作時は、動作中かつデータにアクセスしていない状態のハードディスクドライブおよび 2 ミリ秒の正弦半波パルスを使用して測定。保管時は、ヘッド固定位置のハードディスクドライブおよび 2 ミリ秒の正弦半波パルスを使用して測定）：	
動作時	143 G
保管時	163 G
高度（最大）：	
動作時	–15.2 ～ 3048 m
保管時	–15.2 ～ 3048 m

カメラ（オプション）	
解像度	640 x 480 ピクセル（VGA）

4

トラブルシューティング

警告 : 感電の可能性、動作中のファン羽根による裂傷、またはその他予期しない怪我を防ぐため、カバーを開く前には必ずコンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の『安全にお使いいただくために』の指示に従ってください。

ツール

電源ライト

コンピュータの前面にある 2 色の電源ボタンライトは、点滅または点灯することでさまざまな動作状態を示します。

- 電源ライトが消灯している場合は、コンピュータの電源が切れているか、電力が供給されていません。
- 電源ライトが青色に点灯していて、コンピュータが応答しない場合は、ディスプレイが接続されていて電源が入っていることを確認してください。
- 電源ライトが青色で点滅している場合、コンピュータはスタンバイモードに入っています。キーボードのキーを押したり、マウスを動かしたり、電源ボタンを押したりすると、通常の動作が再開されます。電源ライトが橙色で点滅していて、コンピュータに電源が供給されている場合、メモリモジュールまたはグラフィックカードといったデバイスが誤作動しているか、正しく取り付けられていない可能性があります。
- 電源ライトが橙色に点灯している場合、電源の問題または内蔵デバイスの誤作動の可能性があります。

ビープコード

コンピュータの起動時に、モニターにエラーメッセージまたは問題を表示できない場合、ビープ音が連続して鳴ることがあります。この連続したビープ音はビープコードと呼ばれ、問題を示します。短いビープ音が連続して 3 回鳴るビープコードがあります。このビープコードは、コンピュータがシステム基板障害の可能性を検出したことを知らせます。

起動時にコンピュータがビープ音を発する場合、次の手順を実行します。

1 ビープコードを書き留めます。

2 Dell™ Diagnostics（診断）プログラムを実行し、その原因をつきとめます（41 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

コード（連続する短いビープ音の回数）	説明	推奨する改善策
1	BIOS チェックサム障害。システム基板障害の可能性があります。	デルにお問い合わせください。
2	メモリモジュールが検出されない	**1** 取り付けているメモリモジュールが 2 つ以上の場合、すべてのモジュールを取り外してからモジュールの 1 つを取り付けなおし（**support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）、コンピュータを再起動します。コンピュータが正常に起動する場合、別のモジュールを取り付けます。障害のあるモジュールが見つかるまで、またはエラーなしにすべてのモジュールを取り付けなおせるまで続けます。 **2** 正常に動作している同じ種類のメモリがある場合は、そのメモリをコンピュータに取り付けます（**support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）。 **3** 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください。
3	システム基板障害の可能性	デルにお問い合わせください。
4	RAM 書き込み / 読み取り障害	**1** 特別なメモリモジュール / メモリコネクタ設置要件がないことを確認します（**support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）。 **2** 取り付けるメモリモジュールにコンピュータとの互換性があることを確認します（**support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）。 **3** 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください。
5	リアルタイムクロック障害。バッテリー障害またはシステム基板障害の可能性があります。	**1** バッテリーを交換します（**support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）。 **2** 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください。

コード（連続する短いビープ音の回数）	説明	推奨する改善策
6	ビデオ BIOS テスト障害	デルにお問い合わせください。
7	CPU キャッシュテスト障害	デルにお問い合わせください。

エラーメッセージ

警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の『安全にお使いいただくために』の指示に従ってください。

メッセージがリストにない場合は、メッセージが表示されたときに実行していたオペレーティングシステムまたはプログラムのマニュアルを参照してください。

AUXILIARY DEVICE FAILURE（補助デバイスエラー） — タッチパッドまたは外付けマウスに問題がある可能性があります。外付けマウスを使用している場合、ケーブル接続を確認します。セットアップユーティリティで **Pointing Device** オプションの設定を有効にします。詳細については、『サービスマニュアル』（**support.jp.dell.com**）を参照してください。問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（65 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

BAD COMMAND OR FILE NAME（コマンド名またはファイル名が違います） — 正しいコマンドを入力したか、スペースの位置は正しいか、パス名は正しいかを確認します。

CACHE DISABLED DUE TO FAILURE（障害によりキャッシュが無効になりました） — マイクロプロセッサに内蔵のプライマリキャッシュに問題が発生しました。デルにお問い合わせください（65 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

CD DRIVE CONTROLLER FAILURE（CD ドライブコントローラエラー） — コンピュータからのコマンドに CD ドライブが応答しません。

DATA ERROR（データエラー） — ハードドライブからデータを読むことができません。

DECREASING AVAILABLE MEMORY（使用可能メモリが減少） — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおし、必要であれば、メモリモジュールを交換します。詳細については、『サービスマニュアル』（**support.jp.dell.com**）を参照してください。

DISK C: FAILED INITIALIZATION（ディスク C: の初期化失敗） — ハードドライブの初期化に失敗しました。Dell Diagnostics（診断）プログラムの Hard-Disk Drive テストを実行します（41 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

DRIVE NOT READY（ドライブの準備ができていません）— 操作を続行する前に、ベイにハードドライブがある必要があります。ハードドライブベイにハードドライブを取り付けます。詳細については、『サービスマニュアル』（**support.jp.dell.com**）を参照してください。

ERROR READING PCMCIA CARD（PCMCIA カードの読み取りエラー）— コンピュータが ExpressCard を認識できません。カードを挿入しなおすか、別のカードを使用してください。詳細については、『サービスマニュアル』（**support.jp.dell.com**）を参照してください。

EXTENDED MEMORY SIZE HAS CHANGED（拡張メモリの容量が変更されています）— 不揮発性メモリ（NVRAM）に記録されているメモリ容量が、実際に取り付けられているメモリ容量と一致しません。コンピュータを再起動します。エラーが再度表示される場合は、デルにお問い合わせください（65 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

THE FILE BEING COPIED IS TOO LARGE FOR THE DESTINATION DRIVE（コピーするファイルが大きすぎて受け側のドライブに入りません）— 指定のディスクにコピーするにはファイルサイズが大きすぎます。またはディスクがいっぱいで入りません。ファイルを他のディスクにコピーするか、容量の大きなディスクを使用します。

A FILENAME CANNOT CONTAIN ANY OF THE FOLLOWING CHARACTERS: ¥ / : * ? “ < > |（ファイル名には次の文字は使用できません：¥ / : * ? “ < > |）— これらの記号をファイル名に使用しないでください。

GATE A20 FAILURE（ゲート A20 エラー）— メモリモジュールがしっかりと接続されていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおし、必要であれば、メモリモジュールを交換します。詳細については、『サービスマニュアル』（**support.jp.dell.com**）を参照してください。

GENERAL FAILURE（一般的な障害）— オペレーティングシステムはコマンドを実行できません。通常、このメッセージのあとには具体的な情報（例えば、`Printer out of paper`（プリンタの用紙がありません））が付きます。適切な対応策に従います。

HARD-DISK DRIVE CONFIGURATION ERROR（ハードディスクドライブ設定エラー）— コンピュータがドライブの種類を識別できません。コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り外してから（**support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。Dell Diagnostics（診断）プログラムの Hard-Disk Drive テストを実行します（41 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

Hard-disk drive controller failure 0（ハードディスクドライブコントローラエラー 0）— ハードドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り外してから（**support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics（診断）プログラムの Hard-Disk Drive テストを実行します（41 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

Hard-disk drive failure（ハードディスクドライブエラー）— ハードドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り外してから（**support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics（診断）プログラムの Hard-Disk Drive テストを実行します（41 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

Hard-disk drive read failure（ハードディスクドライブ読み取りエラー）— ハードドライブに問題がある可能性があります。コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り外してから（**support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics（診断）プログラムの Hard-Disk Drive テストを実行します（41 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

Insert bootable media（起動用メディアを挿入します）— オペレーティングシステムは、FD または CD などの起動用以外のメディアから起動しようとしています。起動用メディアを挿入します。

Invalid configuration information-please run System Setup Program（システム情報が間違っています。セットアップユーティリティを実行します）— システム設定情報がハードウェア構成と一致しません。このメッセージは、メモリモジュールの取り付け後に最もよく表示されます。セットアップユーティリティで、該当するオプションを修正します。詳細については、『サービスマニュアル』（**support.jp.dell.com**）を参照してください。

Keyboard clock line failure（キーボードクロックラインエラー）— 外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。Dell Diagnostics（診断）プログラムの KeyBoard Controller テストを実行します（41 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

KEYBOARD CONTROLLER FAILURE（キーボードコントローラエラー） — 外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはマウスに触れないようにします。Dell Diagnostics（診断）プログラムの KeyBoard Controller テストを実行します（41 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

KEYBOARD DATA LINE FAILURE（キーボードデータラインエラー） — 外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。Dell Diagnostics（診断）プログラムの KeyBoard Controller テストを実行します（41 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

KEYBOARD STUCK KEY FAILURE（キーボードスタックキーエラー） — 外付けキーボードまたはキーパッドの、ケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはキーに触れないようにします。Dell Diagnostics（診断）プログラムの Stuck Key テストを実行します（41 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

LICENSED CONTENT IS NOT ACCESSIBLE IN MEDIADIRECT（MEDIADIRECT では、ライセンスコンテンツにはアクセスできません） — Dell™ MediaDirect™ では、ライセンスファイルに対するデジタル権限管理（DRM）制限を検証できないので、ライセンスファイルを再生できません（41 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

MEMORY ADDRESS LINE FAILURE AT ADDRESS, READ VALUE EXPECTING VALUE（メモリアドレスラインエラー：アドレス、読み取り値、期待値） — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおし、必要であれば、メモリモジュールを交換します。詳細については、『サービスマニュアル』（**support.jp.dell.com**）を参照してください。

MEMORY ALLOCATION ERROR（メモリの割り当てエラー） — 実行しようとしているソフトウェアが、オペレーティングシステム、別のアプリケーションプログラム、またはユーティリティとコンフリクトしています。コンピュータをシャットダウンし、30 秒待ってから再起動します。再度プログラムを実行してみます。エラーメッセージが依然として表示される場合、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

MEMORY DATA LINE FAILURE AT ADDRESS, READ VALUE EXPECTING VALUE（メモリデータラインエラー：アドレス、読み取り値、期待値） — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおし、必要であれば、メモリモジュールを交換します。詳細については、『サービスマニュアル』（**support.jp.dell.com**）を参照してください。

MEMORY DOUBLE WORD LOGIC FAILURE AT ADDRESS, READ VALUE EXPECTING VALUE（メモリダブルワード論理エラー：アドレス、読み取り値、期待値）— メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおし、必要であれば、メモリモジュールを交換します。詳細については、『サービスマニュアル』（**support.jp.dell.com**）を参照してください。

MEMORY ODD/EVEN LOGIC FAILURE AT ADDRESS, READ VALUE EXPECTING VALUE（メモリ奇数 / 偶数論理エラー：アドレス、読み取り値、期待値）— メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおし、必要であれば、メモリモジュールを交換します。詳細については、『サービスマニュアル』（**support.jp.dell.com**）を参照してください。

MEMORY WRITE/READ FAILURE AT ADDRESS, READ VALUE EXPECTING VALUE（メモリ書き込み / 読み取りエラー：アドレス、読み取り値、期待値）— メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおし、必要であれば、メモリモジュールを交換します。詳細については、『サービスマニュアル』（**support.jp.dell.com**）を参照してください。

NO BOOT DEVICE AVAILABLE（起動デバイスがありません）— コンピュータがハードドライブを見つけることができません。ハードドライブが起動デバイスの場合、ドライブが適切に装着されており、起動デバイスとして区分（パーティション）されていることを確認します。

NO BOOT SECTOR ON HARD DRIVE（ハードドライブにブートセクターがありません）— オペレーティングシステムが破損している可能性があります。デルにお問い合わせください（65 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

NO TIMER TICK INTERRUPT（タイマーチック割り込み信号がありません）— システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの System Set テストを実行します（41 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

NOT ENOUGH MEMORY OR RESOURCES. EXIT SOME PROGRAMS AND TRY AGAIN（メモリまたはリソースが不足しています。プログラムをいくつか終了し、やりなおしてください）— 開いているプログラムの数が多すぎます。すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。

OPERATING SYSTEM NOT FOUND（オペレーティングシステムが見つかりません）— ハードドライブを取り付けなおします（**support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）。問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（65 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

OPTIONAL ROM BAD CHECKSUM（オプション ROM のチェックサムが違います）— オプション ROM に問題があります。デルにお問い合わせください（65 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

A REQUIRED .DLL FILE WAS NOT FOUND（必要な .DLL ファイルが見つかりません）— アプリケーションプログラムに必要なファイルがありません。プログラムを削除してから、再インストールします。

Microsoft® Windows Vista®：

1 Windows Vista スタートボタン → **コントロールパネル** → **プログラム** → **プログラムと機能**をクリックします。
2 削除するプログラムを選択します。
3 **アンインストール**をクリックします。
4 インストール手順については、プログラムのマニュアルを参照してください。

Microsoft Windows® XP：

1 **スタート** → **コントロールパネル** → **プログラムの追加と削除** → **プログラムと機能**をクリックします。
2 削除するプログラムを選択します。
3 **アンインストール**をクリックします。
4 インストール手順については、プログラムのマニュアルを参照してください。

SECTOR NOT FOUND（セクターが見つかりません）— オペレーティングシステムがハードドライブ上のセクターを見つけることができません。ハードドライブに不良セクターがあるか、FAT が破損している可能性があります。Windows のエラーチェックユーティリティを実行して、ハードドライブのファイル構造を調べます。Windows ヘルプとサポート（**スタート** → **ヘルプとサポート**をクリックします）を参照してください。多くのセクターに障害がある場合、可能であればデータをバックアップして、ハードドライブを再フォーマットします。

SEEK ERROR（シークエラー）— オペレーティングシステムがハードドライブ上の特定のトラックを見つけることができません。

SHUTDOWN FAILURE（シャットダウンエラー）— システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの System Set テストを実行します（41 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

TIME-OF-DAY CLOCK LOST POWER（内部時計の電力低下）— システム設定が破損しています。コンピュータをコンセントに接続してバッテリーを充電します。問題が解決されない場合、セットアップユーティリティを起動してデータの復元を試してから、すぐにプログラムを終了します（**support.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）。メッセージが表示される場合は、デルにお問い合わせください（65 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

TIME-OF-DAY CLOCK STOPPED（内部時計の停止）— システム設定をサポートする予備バッテリーを、再充電する必要がある可能性があります。コンピュータをコンセントに接続してバッテリーを充電します。問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（65 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

TIME-OF-DAY NOT SET-PLEASE RUN THE SYSTEM SETUP PROGRAM（内部時計が設定されていません。セットアップユーティリティを実行してください）— セットアップユーティリティで設定した時刻または日付が内部時計と一致しません。**日付**と**時刻**オプションの設定を修正します。詳細については、『サービスマニュアル』（**support.jp.dell.com**）を参照してください。

TIMER CHIP COUNTER 2 FAILED（タイマーチップカウンタ 2 が失敗しました）— システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの System Set テストを実行します（41 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

UNEXPECTED INTERRUPT IN PROTECTED MODE（プロテクトモードで予期しない割り込み発生）— キーボードコントローラが誤動作しているか、メモリモジュールの接続に問題がある可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの System Memory テストおよび Keyboard Controller テストを実行します（41 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

X:¥ IS NOT ACCESSIBLE. THE DEVICE IS NOT READY（X:¥ にアクセスできません。ドライブの準備ができていません）— ドライブにディスクを入れ、もう一度試してみます。

WARNING: BATTERY IS CRITICALLY LOW（警告：バッテリーが極めて低下しています）— バッテリーの充電量が不足しています。バッテリーを交換するか、コンピュータをコンセントに接続します。または、休止モードを有効にするか、コンピュータをシャットダウンします。

システムメッセージ

メモ：受け取ったメッセージがリストにない場合は、メッセージが表示されたときに実行されていたオペレーティングシステムまたはプログラムのマニュアルを参照してください。

ALERT! PREVIOUS ATTEMPTS AT BOOTING THIS SYSTEM HAVE FAILED AT CHECKPOINT [NNNN]. FOR HELP IN RESOLVING THIS PROBLEM, PLEASE NOTE THIS CHECKPOINT AND CONTACT DELL TECHNICAL SUPPORT（警告：このシステムの前回の起動時にチェックポイント [NNNN] で障害が発生しました。この問題を解決するには、このチェックポイントをメモしてデルテクニカルサポートにお問い合わせください）— 同じエラーによって、コンピュータは 3 回連続して起動ルーチンを終了できませんでした（サポートを受けるには、65 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

CMOS CHECKSUM ERROR（CMOS チェックサムエラー）— システム基板に障害が発生しているか、RTC バッテリーが低下している可能性があります。バッテリーを交換します。『サービスマニュアル』（**support.jp.dell.com**）または 65 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

CPU FAN FAILURE（CPU ファン障害）— プロセッサファンに障害が発生しています。プロセッサファンを交換します。『サービスマニュアル』（**support.jp.dell.com**）を参照してください。

HARD-DISK DRIVE FAILURE（ハードディスクドライブエラー）— ハードドライブ POST 実行中に発生したハードドライブ障害の可能性があります。ケーブルを確認するか、ハードドライブを交換します。サポートを受けるには、65 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

HARD-DISK DRIVE READ FAILURE（ハードディスクドライブ読み取りエラー）— ハードドライブ起動テスト中にハードドライブ障害が発生した可能性があります（サポートを受けるには 65 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

KEYBOARD FAILURE（キーボードエラー）— キーボード障害、またはキーボードケーブルが緩んでいる可能性があります。

NO BOOT DEVICE AVAILABLE（起動デバイスがありません）— ハードドライブ上に起動可能なパーティションが存在しない、ハードドライブケーブルがしっかりと接続されていない、または起動可能なデバイスが存在しません。

- ハードドライブが起動デバイスの場合、ケーブルがドライブに適切に取り付けられていて、起動デバイスとしてパーティション分割されていることを確認します。
- セットアップユーティリティを起動し、起動順序の情報が正しいかどうかを確認します（**support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）。

NO TIMER TICK INTERRUPT（タイマーチック割り込み信号がありません）—

- システム基板上のチップが誤動作しているかまたはシステム基板障害の可能性があります（サポートを受けるには 65 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

USB OVER CURRENT ERROR（USB 過電流エラー）—

- USB デバイスを取り外してください。USB デバイスに外部電源を使用します。

NOTICE - HARD DRIVE SELF MONITORING SYSTEM HAS REPORTED THAT A PARAMETER HAS EXCEEDED ITS NORMAL OPERATING RANGE. DELL RECOMMENDS THAT YOU BACK UP YOUR DATA REGULARLY. A PARAMETER OUT OF RANGE MAY OR MAY NOT INDICATE A POTENTIAL HARD DRIVE PROBLEM（注意 - ハードディスクドライブの自己監視システムには、パラメータが通常の動作範囲を超えていることがレポートされています。デルではデータを定期的にバックアップすることをお勧めしています。範囲外のパラメーターは、潜在的なハードディスクドライブの問題を示す場合とそうでない場合があります）—

• S.M.A.R.T エラー。ハードドライブ障害の可能性があります。この障害により、BIOS 設定で有効とされたり無効とされたりする可能性があります。

ソフトウェアとハードウェアの問題のトラブルシューティング

オペレーティングシステムのセットアップ中にデバイスが検知されないか、検知されても間違って設定されている場合は、ハードウェアに関するトラブルシューティングを使って非互換性の問題を解決します。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを開始するには、次の手順を実行します。

Windows Vista：

1. Windows Vista スタートボタン をクリックし、**ヘルプとサポート**をクリックします。
2. 検索フィールドにハードウェアに関するトラブルシューティングと入力し、<Enter> を押して検索を開始します。
3. 検索結果で、問題に最も該当するオプションを選択し、残りのトラブルシューティング手順に従います。

Windows XP：

1. **スタート** → **ヘルプとサポート**をクリックします。
2. 検索フィールドにハードウェアに関するトラブルシューティングと入力し、<Enter> を押して検索を開始します。
3. **問題を解決する**セクションで、**ハードウェアに関するトラブルシューティング**をクリックします。
4. **ハードウェアに関するトラブルシューティング**の一覧で、問題を適切に示すオプションを選択し、**次へ**をクリックしてトラブルシューティングの残りの手順に従います。

Dell Diagnostics（診断）プログラム

警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の『安全にお使いいただくために』の指示に従ってください。

Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用する場合

コンピュータに問題が発生した場合、デルテクニカルサポートに問い合わせる前に、「フリーズおよびソフトウェアの問題」のチェック事項（45 ページの「フリーズおよびソフトウェアの問題」を参照）を実行してから、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行してください。

作業を始める前に、これらの手順を印刷しておくことをお勧めします。

注意： Dell Diagnostics（診断）プログラムは、Dell コンピュータ上でのみ機能します。

メモ： Dell『Drivers and Utilities』メディアはオプションなので、出荷時にすべてのコンピュータに付属しているわけではありません。

『サービスマニュアル』（**support.jp.dell.com**）を参照して、コンピュータの設定情報を再検討し、テストするデバイスがセットアップユーティリティに表示され、アクティブであることを確認します。

Dell Diagnostics（診断）プログラムをハードドライブまたは Dell『Drivers and Utilities』メディアから起動します。

ハードドライブから Dell Diagnostics（診断）プログラムを起動する場合

メモ： コンピュータの画面に画像が表示されない場合は、65 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

1. コンピュータの電源ケーブルがコンセントにしっかりと接続されていることを確認します。
2. コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
3. DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。起動メニューから **Diagnostics** を選択し、<Enter> を押します。

   メモ： キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータをシャットダウンして操作をやりなおしてください。

   メモ： 診断ユーティリィティパーティションが見つからないことを知らせるメッセージが表示された場合は、『Drivers and Utilities』メディアから Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。
4. 任意のキーを押してハードドライブ上の診断ユーティリティパーティションから Dell Diagnostics（診断）プログラムを起動し、画面の指示に従います。

Dell『Drivers and Utilities』メディアから Dell Diagnostics（診断）プログラムを起動する場合

1. 『Drivers and Utilities』メディアを挿入します。
2. コンピュータをシャットダウンして、再起動します。

   DELL のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

   メモ： キーを押すタイミングが遅れて、OS のロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータをシャットダウンして再度試します。

メモ : 次の手順は、起動順序を 1 回だけ変更します。次回の起動時には、コンピュータはセットアップユーティリティで指定したデバイスに従って起動します。

3 起動デバイスの一覧が表示されたら、**CD/DVD/CD-RW** をハイライト表示して <Enter> を押します。

4 表示されたメニューから **Boot from CD-ROM** オプションを選択し、<Enter> を押します。

5 1 を入力して、CD のメニューを開始し、<Enter> を押して続行します。

6 番号の付いたリストから **Run the 32 Bit Dell Diagnostics** を選択します。複数のバージョンがリストにある場合は、コンピュータに適切なバージョンを選択します。

7 Dell Diagnostics(診断)プログラムの **Main Menu** が表示されたら、実行するテストを選択し、画面の指示に従います。

トラブルシューティングのヒント

コンピュータのトラブルシューティングについては、次のヒントに従ってください。

- 部品を追加または取り外した後に問題が発生した場合、取り付け手順を見直して、部品が正しく取り付けられているかどうかを確認します(**support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照)。
- デバイスが機能しない場合、デバイスが適切に接続されているかどうかを確認します。
- 画面にエラーメッセージが表示される場合、メッセージを正確にメモします。このメッセージは、サポート担当者が問題を診断および解決するのに役立ちます。
- プログラムの実行中にエラーメッセージが表示される場合、プログラムのマニュアルを参照してください。

メモ : このマニュアルの手順は、Windows のデフォルト表示用に書かれているため、コンピュータをクラシック表示に設定していると適用されない場合があります。

電源の問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の『安全にお使いいただくために』の指示に従ってください。

電源ライトが消灯している場合 — コンピュータの電源が切れているか、コンピュータに電力が供給されていません。

- 電源ケーブルをコンピュータ背面の電源コネクタとコンセントにしっかりと装着しなおします。

- 電源タップ、電源延長ケーブル、およびその他の電源保護装置を使用している場合は、それらを外してコンピュータの電源が正常に入ることを確認します。
- 使用している電源タップがあれば、電源コンセントに接続され、オンになっていることを確認します。
- 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているかどうかを確認します。
- 主電源ケーブルおよび前面パネルケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているかどうかを確認します（**support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）。

電源ライトが青色に点灯していて、コンピュータの反応が停止した場合 —

- ディスプレイが接続されていて電源が入っているかどうかを確認します。
- ディスプレイが接続されていて電源が入っている場合は、31 ページの「ビープコード」を参照してください。

電源ライトが青色で点滅している場合 — コンピュータはスタンバイモードになっています。キーボードのキーを押したり、マウスを動かしたり、電源ボタンを押したりすると、通常の動作が再開されます。

電源ライトが黄色で点滅している場合 — コンピュータに電源は供給されていますが、デバイスが誤作動しているか、正しく取り付けられていない可能性があります。

- すべてのメモリモジュールを取り外してから、取り付けなおします（**support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）。
- グラフィックスカードを含む拡張カードをすべて取り外してから、再度取り付けます（**support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）。

電源ライトが黄色に点灯している場合 — 電源に問題が発生している、デバイスの誤作動している、またはデバイスが正しく取り付けられていません。

- プロセッサ電源ケーブルがシステム基板の電源コネクタにしっかりと接続されているかどうかを確認します（**support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）。
- 主電源ケーブルおよび前面パネルケーブルがシステム基板コネクタにしっかりと接続されているかどうかを確認します（**support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）。

電気的な妨害の解消 — 電気的な妨害の原因には、以下のものがあります。

- 電源、キーボード、およびマウス拡張ケーブル
- 同じ電源タップに接続されているデバイスが多すぎる
- 同じコンセントに複数の電源タップが接続されている

メモリの問題

 警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の『安全にお使いいただくために』の指示に従ってください。

メモリが不足しているというメッセージが表示された場合 —

- 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、使用していない実行中のプログラムをすべて終了して、問題が解決するか調べます。
- メモリの最小要件については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて増設メモリを取り付けます（**support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）。
- メモリモジュールを装着しなおし（**support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）、コンピュータがメモリと正常に通信するかどうかを確認します。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（41 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

メモリにその他の問題がある場合 —

- メモリモジュールを装着しなおし（**support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）、コンピュータがメモリと正常に通信するかどうかを確認します。
- メモリの取り付けガイドラインに従っているかどうかを確認します（**support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）。
- 使用するメモリがお使いのコンピュータでサポートされていることを確認します。お使いのコンピュータに対応するメモリの詳細については、22 ページの「メモリ」を参照してください。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（41 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

フリーズおよびソフトウェアの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の『安全にお使いいただくために』の指示に従ってください。

コンピュータが起動しない場合

電源ケーブルがコンピュータとコンセントにしっかりと接続されているかどうかを確認します

コンピュータの反応が停止した場合

注意 : オペレーティングシステムのシャットダウンが実行できない場合、データを損失する恐れがあります。

コンピュータの電源を切る — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押し続けてコンピュータの電源を切ったあと、コンピュータを再起動します。

プログラムが応答しなくなった場合

プログラムを終了する —

1 <Ctrl><Shift><Esc> を同時に押してタスクマネージャを開き、**アプリケーション**タブをクリックします。

2 クリックして応答しなくなったプログラムを選択し、**タスクの終了**をクリックします。

プログラムが繰り返しクラッシュする場合

メモ：ほとんどのソフトウェアのインストールの手順は、ソフトウェアのマニュアル、FD、CD、または DVD に収録されています。

ソフトウェアのマニュアルを参照する — 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

プログラムが以前の Microsoft® Windows® オペレーティングシステム向けに設計されている場合

プログラム互換性ウィザードを実行する —

Windows Vista：

Windows Vista には、Windows Vista 以外のオペレーティングシステムに近い環境でプログラムが動作するように設定できるプログラム互換性ウィザードがあります。

1 **スタート** → **コントロールパネル** → **プログラム** → **このバージョンの Windows でより古いプログラムを使用する**をクリックします。

2 プログラム互換性ウィザードの開始画面で、**次へ**をクリックします。

3 画面の指示に従います。

Windows XP：

Windows XP には、Windows XP 以外のオペレーティングシステムに近い環境でプログラムが動作するよう設定できるプログラム互換性ウィザードがあります。

1 **スタート** → **プログラム** → **アクセサリ** → **プログラム互換性ウィザード** → **次へ**をクリックします。

2 画面の指示に従います。

画面が青色(ブルースクリーン)になる場合

コンピュータの電源を切る — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合、電源ボタンを 8 ~ 10 秒以上押し続けてコンピュータの電源を切ったあと、コンピュータを再起動します。

その他のソフトウェアの問題

トラブルシューティング情報については、ソフトウェアのマニュアルを確認するかソフトウェアの製造元に問い合わせる —

- プログラムがコンピュータにインストールされているオペレーティングシステムに対応しているかどうかを確認します。
- コンピュータがソフトウェアを実行するのに必要な最小ハードウェア要件を満たしていることを確認します。詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- プログラムが正しくインストールおよび設定されているかどうかを確認します。
- デバイスドライバがプログラムとコンフリクトしていないかどうかを確認します。
- 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

ファイルのバックアップを直ちに作成する

- ウイルススキャンプログラムを使用して、ハードドライブ、FD、CD、または DVD を調べます。
- 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了して、スタートメニューからコンピュータをシャットダウンします。

Dell テクニカル Update Service

Dell テクニカル Update Service は、お使いのコンピュータに関するソフトウェアおよびハードウェアのアップデートを E- メールにて事前に通知するサービスです。このサービスは無償で提供され、内容、フォーマット、および通知を受け取る頻度をカスタマイズすることができます。

Dell テクニカル Update Service に登録するには、**support.dell.com/technicalupdate**(英語)にアクセスしてください。

デルサポートユーティリティ

デルサポートユーティリティは、お使いのコンピュータにインストールされており、タスクバーのデルサポート、アイコンまたは**スタート**ボタンから使用できます。このサポートユーティリティは、セルフサポート情報、ソフトウェアのアップデート、およびお使いのコンピュータ環境の状態をスキャンする場合に使用します。

デルサポートユーティリティへのアクセス

デルサポートユーティリティは、タスクバーの アイコンまたは**スタート**メニューからアクセスできます。

デルサポートアイコンがタスクバーに表示されていない場合は、次の手順を実行します。

1 **スタート** → **プログラム** → **Dell Support** → **Dell Support 設定**をクリックします。

2 **タスクバーのアイコンを表示する**オプションがチェックされていることを確認します。

メモ：デルサポートユーティリティが**スタート**メニューから利用できない場合は、**support.jp.dell.com** からソフトウェアをダウンロードしてください。

デルサポートユーティリティは、お使いのコンピュータ環境にカスタマイズされています。

タスクバーの アイコンは、アイコンをクリック、ダブルクリック、または右クリックした場合でそれぞれ機能が異なります。

デルサポートアイコンのクリック

次のタスクを実行するには、 アイコンをクリックまたは右クリックします。

- お使いのコンピュータ環境のチェック
- デルサポートユーティリティの設定の表示
- デルサポートユーティリティのヘルプファイルへのアクセス
- よくあるお問い合わせ（FAQ）の表示
- デルサポートユーティリティの詳細の表示
- デルサポートユーティリティの終了

デルサポートアイコンのダブルクリック

アイコンをダブルクリックすると、お使いのコンピュータ環境の手動チェック、よくあるお問い合わせ（FAQ）の表示、デルサポートユーティリティのヘルプファイルへのアクセス、およびデルサポート設定の表示を実行できます。

デルサポートユーティリティの詳細については、**Dell™ サポート**画面の上部にある疑問符（**?**）をクリックしてください。

5

ソフトウェアの再インストール

ドライバ

ドライバの確認

デバイスに問題が発生した場合、次の手順を実行して問題の原因がドライバかどうかを判断し、必要に応じてドライバをアップデートしてください。

Microsoft® Windows Vista®：

1 Windows Vista のスタートボタン ™ をクリックし、**コンピュータ**を右クリックします。

2 **プロパティ** → **デバイスマネージャ**をクリックします。

メモ：ユーザーアカウント制御ウィンドウが表示される場合があります。コンピュータの管理者の場合は、**続行**をクリックします。管理者でない場合は、管理者に連絡して作業を続けます。

Microsoft Windows® XP：

1 **スタート** → **コントロールパネル**をクリックします。

2 **作業する分野を選びます**で、**パフォーマンスとメンテナンス**をクリックし、**システム**をクリックします。

3 **システムのプロパティ**ウィンドウで、**ハードウェア**タブをクリックし、**デバイスマネージャ**をクリックします。

一覧を下にスクロールして、デバイスアイコンに感嘆符（黄色の円に **!**）が付いたデバイスを探します。

デバイス名の横に感嘆符がある場合、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要な場合があります（50 ページの「ドライバおよびユーティリティの再インストール」を参照）。

ドライバおよびユーティリティの再インストール

注意： デルサポートサイト **support.jp.dell.com** および『Drivers and Utilities』メディアでは、お使いの Dell™ コンピュータ用として承認済みのドライバを提供しています。その他の媒体からのドライバをインストールすると、お使いのコンピュータが適切に動作しない恐れがあります。

以前のデバイスドライババージョンへの復帰

Windows Vista：

1 Windows Vista のスタートボタン をクリックし、**コンピュータ**を右クリックします。

2 **プロパティ** → **デバイスマネージャ**をクリックします。

メモ：ユーザーアカウント制御ウィンドウが表示される場合があります。コンピュータの管理者の場合は、**続行**をクリックします。管理者でない場合は、管理者に連絡してデバイスマネージャを起動します。

3 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックし、**プロパティ**をクリックします。

4 **ドライバ**タブ → **ドライバのロールバック**をクリックします。

Windows XP：

1 **スタート** → **マイコンピュータ** → **プロパティ** → **ハードウェア** → **デバイスマネージャ**をクリックします。

2 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックし、**プロパティ**をクリックします。

3 **ドライバ**タブ → **ドライバのロールバック**をクリックします。

デバイスドライバのロールバックを行っても問題が解決しない場合、システムの復元（52 ページの「オペレーティングシステムの復元」を参照）を行って、新しいドライバがインストールされる前の動作状態にオペレーティングシステムを戻します。

『Drivers and Utilities』メディアの使い方

デバイスドライバのロールバックまたはシステム復元（52 ページの「オペレーティングシステムの復元」を参照）で問題を解決できない場合、『Drivers and Utilities』メディアからドライバを再インストールします。

1 Windows デスクトップが表示されている状態で、『Drivers and Utilities』メディアを挿入します。

『Drivers and Utilities』メディアを初めてお使いになる場合は、手順 2 に進みます。それ以外の場合は、手順 5 に進みます。

2 『Drivers and Utilities』メディアのインストールプログラムが起動したら、画面の指示に従います。

メモ：ほとんどの場合、『Drivers and Utilities』のプログラムは自動的に実行されます。自動的に実行されない場合は、Windows エクスプローラを開き、メディアドライブのディレクトリをクリックしてメディアの内容を表示し、**autorcd.exe** ファイルをダブルクリックします。

3 **InstallShield ウィザードの完了**ウィンドウが表示されたら、『Drivers and Utilities』メディアを取り出し、**完了**をクリックしてコンピュータを再起動します。

4 Windows デスクトップが表示されたら、『Drivers and Utilities』メディアをもう一度挿入します。

5 **Dell ResourceCD InstallShield ウィザードへようこそ**画面で、**次へ**をクリックします。

メモ：『Drivers and Utilities』のプログラムでは、出荷時にコンピュータに取り付けられていたハードウェアのドライバのみが表示されます。追加のハードウェアを取り付けた場合、新しいハードウェアのドライバは表示されないことがあります。ドライバが表示されていない場合は、『Drivers and Utilities』のプログラムを終了します。ドライバの情報については、デバイスに付属するマニュアルを参照してください。

コンピュータ上のハードウェアをリソースメディアが検出中であるというメッセージが表示されます。

お使いのコンピュータで使用されているドライバが、**マイドライバ - Resource CD はシステム上でこれらのコンポーネントを検出しました**ウィンドウに自動的に表示されます。

6 再インストールするドライバをクリックし、画面の指示に従います。

特定のドライバが一覧に表示されていない場合は、オペレーティングシステムはそのドライバを必要としません。

ドライバを手動でインストールするには

ドライバファイルをハードドライブに解凍してから（前項参照）、次の手順を実行します。

1 Windows Vista のスタートボタン をクリックし、**コンピュータ**を右クリックします。

2 **プロパティ** → **デバイスマネージャ**をクリックします。

メモ：ユーザーアカウント制御ウィンドウが表示される場合があります。コンピュータの管理者の場合は、**続行**をクリックします。管理者でない場合は、管理者に連絡してデバイスマネージャを起動します。

3 インストールするドライバのデバイスのタイプをダブルクリックします（たとえば、**オーディオ**または**ビデオ**）。

4 インストールするドライバのデバイスの名前をダブルクリックします。

5 **ドライバ**タブ → **ドライバの更新** → **コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します**をクリックします。

6 **参照**をクリックして、あらかじめドライバファイルをコピーしておいた場所を参照します。

7 該当するドライバの名前が表示されたら、ドライバの名前 → **OK** → **次へ**をクリックします。

8 **完了**をクリックして、コンピュータを再起動します。

オペレーティングシステムの復元

次の方法で、お使いのオペレーティングシステムを復元することができます。

- Microsoft Windows システムの復元は、データファイルに影響させることなく、お使いのコンピュータを以前の状態に戻します。オペレーティングシステムを復元し、データファイルを保持する最初の解決策として、システムの復元を使用してください。
- Dell Factory Image Restore（Windows Vista で利用可能）は、お使いのハードドライブをコンピュータの工場出荷時の動作状態に戻します。このプログラムは、ハードドライブのすべてのデータを完全に削除し、コンピュータ納品後にユーザによってインストールされたプログラムもすべて削除します。Dell Factory Image Restore は、システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合にのみ使用してください。
- コンピュータに『オペレーティングシステム』メディアが付属している場合は、この CD を使用してオペレーティングシステムを復元できます。ただし、『オペレーティングシステム』メディアを使用すると、ハードドライブ上のデータがすべて削除されます。システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合に**のみ**、このメディアを使用してください。

Microsoft® Windows® システムの復元の使い方

ハードウェア、ソフトウェア、またはその他のシステム設定を変更したために、コンピュータが正常に動作しなくなってしまった場合は、Windows オペレーティングシステムのシステムの復元オプションを使用して、コンピュータを以前の動作状態に復元することができます（データファイルへの影響はありません）。システムの復元オプションによってコンピュータに行なわれる変更は、完全に元に戻すことが可能です。

注意：データファイルのバックアップを定期的に作成してください。システムの復元は、データファイルの監視や、データファイルの復元は行いません。

メモ： このマニュアルの手順は、Windows のデフォルト表示用に書かれているため、お使いの Dell™ コンピュータをクラシック表示に設定していると適用されない場合があります。

メモ： お使いの Dell™ コンピュータを Windows クラシック表示に設定してください。

システムの復元の開始

Windows Vista：

1 **スタート** をクリックします。
2 検索の開始ボックスに `System Restore` と入力し、<Enter> を押します。

   メモ：ユーザーアカウント制御ウィンドウが表示される場合があります。コンピュータの管理者の場合は、**続行**をクリックします。管理者でない場合は、目的の操作を続けられるように管理者に連絡します。

3 **次へ**をクリックして、画面に表示される指示に従います。

システムの復元を実行しても問題が解決されない場合、最後に行ったシステムの復元を取り消すことができます（53 ページの「最後のシステムの復元の取り消し」を参照）。

Windows XP：

注意： コンピュータを以前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

1 **スタート** → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** → **システムの復元**をクリックします。
2 **コンピュータを以前の状態に復元する**または**復元ポイントの作成**をクリックします。
3 **次へ**をクリックして、画面に表示される指示に従います。

最後のシステムの復元の取り消し

注意： 最後のシステムの復元を元に戻す前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

Windows Vista：

1 **スタート** をクリックします。
2 検索の開始ボックスに `System Restore` と入力し、<Enter> を押します。
3 **以前の復元を取り消す**をクリックし、**次へ**をクリックします。

Windows XP：

1 **スタート** → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** → **システムの復元**をクリックします。
2 **以前の復元を取り消す**をクリックし、**次へ**をクリックします。

システムの復元の有効化

メモ： Windows Vista では、ディスク領域が少ない場合でも、システムの復元は無効になりません。したがって、次の手順は Windows XP のみに適用されます。

空き容量が 200 MB 未満のハードディスクに Windows XP を再インストールした場合、システムの復元は自動的に無効に設定されています。

システムの復元が有効になっているかどうかを確認するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** → **コントロールパネル** → **パフォーマンスとメンテナンス** → **システム**をクリックします。
2 **システムの復元**タブをクリックし、**システムの復元を無効にする**にチェックマークが付いていないことを確認します。

Dell™ Factory Image Restore の使い方

注意： Dell Factory Image Restore を使用すると、ハードドライブのすべてのデータは完全に削除され、コンピュータ納品後にユーザによってインストールされたアプリケーションプログラムやドライバもすべて削除されます。このオプションを使用する前にデータをバックアップしてください。Dell Factory Image Restore は、システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合にのみ使用してください。

メモ： Dell Factory Image Restore は、国またはコンピュータによってはご利用になれない場合があります。

Dell Factory Image Resotre（Windows Vista）は、お使いのオペレーティングシステムを復元するための最終手段としてのみ使用してください。このオプションは、お使いのハードドライブをコンピュータご購入時の状態に戻します。コンピュータ納品後に追加されたプログラムやファイル（データファイルを含む）はすべて完全にハードドライブから削除されます。データファイルには、コンピュータ上の文書、表計算、メールメッセージ、デジタル写真、ミュージックファイルなどが含まれます。Factory Image Restore を使用する前にすべてのデータをバックアップしてください。

Windows Vista:Dell Factory Image Restore

1 コンピュータの電源を入れます。Dell のロゴが表示されたら、<F8> を数回押して Vista の**詳細ブートオプション**ウィンドウにアクセスします。

2 **コンピュータの修復**を選択します。

システム回復オプションウィンドウが表示されます。

3 キーボードレイアウトを選択し、**次へ**をクリックします。

4 回復オプションにアクセスするために、ローカルユーザーとしてログオンします。コマンドプロンプトにアクセスするために、**ユーザー名**フィールドに `administrator` と入力し、**OK** をクリックします。

5 **Dell Factory Image Restore** をクリックします。

メモ：使用する構成によっては、**Dell Factory Tools**、**Dell Factory Image Restore** の順序で選択しなければならない場合もあります。

Dell Factory Image Restore ウェルカム画面が表示されます。

6 **Next**（次へ）をクリックします。

Confirm Data Deletion（データ削除の確認）画面が表示されます。

注意：Factory Image Restore での作業を中止する場合は、**Cancel**（キャンセル）をクリックします。

7 ハードドライブの再フォーマットおよびシステムソフトウェアを工場出荷時の状態に復元する作業を続行することを確認するためのチェックボックスをオンにして、**Next**（次へ）をクリックします。

復元処理が開始します。復元処理が完了するまで 5 分以上かかる場合があります。オペレーティングシステムおよび工場出荷時にインストールされたアプリケーションが工場出荷時の状態に戻ると、メッセージが表示されます。

8 **Finish**（完了）をクリックして、コンピュータを再起動します。

オペレーティングシステムメディアの使い方

作業を開始する前に

新しくインストールしたドライバの問題を解消するために Windows オペレーティングシステムを再インストールする場合は、Windows のデバイスドライバのロールバックを試してみます。50 ページの「以前のデバイスドライババージョンへの復帰」を参照してください。デバイスドライバのロールバックを実行しても問題が解決されない場合は、Microsoft Windows システムの復元を使用して、オペレーティングシステムを新しいデバイスドライバがインストールされる前の動作状態に戻します。52 ページの「Microsoft® Windows® システムの復元の使い方」を参照してください。

注意：インストールを実行する前に、お使いのプライマリハードドライブ上のすべてのデータファイルのバックアップを作成しておいてください。標準的なハードドライブ構成において、プライマリハードドライブはコンピュータによって 1 番目のドライブとして認識されます。

Windows を再インストールするには、Dell™『オペレーティングシステム』メディアおよび Dell『Drivers and Utilities』メディアが必要です。

メモ : Dell『Drivers and Utilities』メディアには、コンピュータの製造工程でプリインストールされたドライバが収録されています。Dell『Drivers and Utilities』メディアを使用して、必要なドライバをロードします。お使いのコンピュータを購入した地域、またはメディアの注文の有無によっては、Dell『Drivers and Utilities』メディアおよび『オペレーティングシステム』メディアがコンピュータに付属していない場合があります。

Windows の再インストール

再インストール処理の完了には 1 ～ 2 時間かかることがあります。オペレーティングシステムを再インストールした後、デバイスドライバ、アンチウイルスプログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2. 『オペレーティングシステム』メディアを挿入します。
3. `Windows` のインストールというメッセージが表示されたら、**終了**をクリックします。
4. コンピュータを再起動します。

   DELL のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

   メモ : キーを押すタイミングが遅れて、OS のロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータをシャットダウンして再度試します。

   メモ : 次の手順は、起動順序を 1 回だけ変更します。次回の起動時には、コンピュータはセットアップユーティリティで指定したデバイスに従って起動します。

5. 起動デバイスの一覧が表示されたら、**CD/DVD/CD-RW Drive** をハイライト表示して **<Enter>** を押します。
6. 任意のキーを押して**CD から起動**し、画面の指示に従ってインストールを完了します。

6

情報の検索方法

 メモ：一部の機能やメディアはオプションなので、出荷時にコンピュータに搭載されていない場合があります。特定の国では使用できない機能やメディアもあります。

 メモ：追加の情報がコンピュータに同梱されている場合もあります。

マニュアル / メディア / ラベル	内容
サービスタグ / エクスプレスサービスコード サービスタグ / エクスプレスサービスコードは、コンピュータに貼付されています。	• サービスタグは、**support.jp.dell.com** を使用の際、またはサポートへのお問い合わせの際に、コンピュータの識別に使用します。 • エクスプレスサービスコードを利用すると、サポートに直接電話で問い合わせることができます。 **メモ：**サービスタグ / エクスプレスサービスコードは、コンピュータに貼付されています。
Drivers and Utilities メディア 『Drivers and Utilities』メディアである CD または DVD が、お使いのコンピュータに同梱されている場合があります。	• コンピュータの診断プログラム • お使いのコンピュータ用のドライバ **メモ：**ドライバおよびマニュアルのアップデート版は、**support.jp.dell.com** で入手できます。 • ノートシステムソフトウェア（NSS） • Readme ファイル **メモ：**メディアに収録されている Readme ファイルには、マニュアルの作成後にシステムに追加された変更や、技術者または専門知識をお持ちのユーザーを対象とするテクニカルリファレンスなどが記載されています。
オペレーティングシステムメディア 『オペレーティングシステム』メディアである CD または DVD が、お使いのコンピュータに同梱されている場合があります。	オペレーティングシステムの再インストール

マニュアル / メディア / ラベル	内容
安全、規制、保証およびサポートマニュアル この種の情報は、お使いのコンピュータに同梱されています。詳細については、**www.dell.com** から法規制の順守に関するページ（**www.dell.com/regulatory_compliance**）を参照してください。	• 保証情報 • 契約条項（アメリカ のみ） • 安全にお使いいただくための注意 • 認可機関の情報 • 快適な使い方 • エンドユーザーライセンス契約
サービスマニュアル お使いのコンピュータの『サービスマニュアル』は、**support.jp.dell.com** でご覧いただけます。	• 部品の取り外しおよび取り付け方法 • システムの設定方法 • トラブルシューティングおよび問題解決の方法
Dell テクノロジガイド 『Dell テクノロジガイド』は、**support.jp.dell.com** でご覧いただけます。	• お使いのオペレーティングシステムについて • デバイスの使い方とメンテナンス • RAID、インターネット、Bluetooth® ワイヤレステクノロジ、E- メール、ネットワークおよびその他様々なテクノロジについて
Microsoft® Windows® ライセンスラベル お使いの Microsoft Windows ライセンスは、コンピュータに貼付されています。	• オペレーティングシステムのプロダクトキーが記載されています。

7

困ったときは

テクニカルサポートを受けるには

警告：コンピュータカバーを取り外す必要がある場合、まずコンピュータの電源ケーブルとモデムケーブルをすべてのコンセントから外してください。お使いのコンピュータに同梱の『安全にお使いいただくために』の指示に従ってください。

コンピュータに何らかの問題が発生した場合は、問題の診断と解決のために次の手順を完了します。

1. コンピュータで発生している問題に関する情報および手順については、43 ページの「トラブルシューティングのヒント」を参照してください。
2. Dell Diagnostics（診断）プログラムの実行の手順については、41 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照してください。
3. 64 ページの「診断チェックリスト」に必要事項を記入してください。
4. インストールとトラブルシューティングの手順については、デルサポートサイト（**support.jp.dell.com**）をご覧ください。デルサポートオンラインのより詳細なリストについては、60 ページの「オンラインサービス」を参照してください。
5. これまでの手順で問題が解決されない場合、65 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

メモ：デルサポートへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をおかけください。サポート担当者がコンピュータでの操作をお願いすることがあります。

メモ：デルのエクスプレスサービスコードシステムをご利用できない国もあります。

デルのオートテレフォンシステムの指示に従って、エクスプレスサービスコードを入力すると、電話は適切なサポート担当者に転送されます。エクスプレスサービスコードをお持ちでない場合は、**Dell Accessories** フォルダを開き、**エクスプレスサービスコード**アイコンをダブルクリックします。その後は、表示される指示に従ってください。

デルサポートの利用方法については、60 ページの「テクニカルサポートとカスタマーサービス」を参照してください。

メモ：これらのサービスはアメリカ合衆国以外の地域では利用できない場合があります。サービスが利用可能かどうかに関しては、最寄りのデル担当者へお問い合わせください。

テクニカルサポートとカスタマーサービス

デル製品に関するお問い合わせは、デルのテクニカルサポートをご利用ください。サポートスタッフはコンピュータによる診断に基づいて、正確な回答を迅速に提供します。

デルのテクニカルサポートへお問い合わせになるときは、まず 63 ページの「お問い合わせになる前に」 を参照し、次に、お住まいの地域の連絡先を参照するか、**support.jp.dell.com** をご覧ください。

DellConnect™

DellConnect は簡単なオンラインアクセスツールで、デルのサービスおよびサポート担当者はこのツールを使用して、お客様の監視の下でブロードバンド接続を通じてお客様のコンピュータにアクセスし、問題の診断と修復を行うことができます。詳細については、**support.jp.dell.com** にアクセスし、**DellConnect** をクリックしてください。

オンラインサービス

デルの製品とサービスについては、以下のウェブサイトを参照してください。

www.dell.com

www.dell.com/ap（アジア / 太平洋諸国）

www.dell.com/jp（日本）

www.euro.dell.com（ヨーロッパ）

www.dell.com/la（中南米およびカリブ海諸国）

www.dell.ca （カナダ）

デルのサポートへは、以下のウェブサイトと E- メールアドレスからアクセスできます。

- デルサポートサイト
  support.jp.dell.com

  support.jp.dell.com（日本）

  support.euro.dell.com（ヨーロッパ）

- デルサポートの E- メールアドレス

  mobile_support@us.dell.com

  support@us.dell.com

  la-techsupport@dell.com（中南米およびカリブ海諸国）

  apsupport@dell.com（アジア / 太平洋諸国）

- デルのマーケティングおよびセールスの E- メールアドレス

  apmarketing@dell.com（アジア / 太平洋諸国）

  sales_canada@dell.com（カナダのみ）

- 匿名 FTP（file transfer protocol）

  ftp.dell.com

  `anonymous` ユーザーとしてログインし、パスワードには E- メールアドレスを使用してください。

ファックス情報サービス

ファックス情報サービスは、フリーダイヤルでファクシミリを使用して技術情報を提供するサービスです。

プッシュホン式の電話から必要なトピックを選択します。電話番号については、65 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

24 時間納期情報案内サービス

注文したデル製品の状況を確認するには、**support.jp.dell.com** にアクセスするか、24 時間納期情報案内サービスにお問い合わせください。音声による案内で、注文について調べて報告するために必要な情報をお伺いします。電話番号については、65 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

ご注文に関する問題

欠品、誤った部品、間違った請求書などの注文に関する問題がある場合は、デルカスタマーケアにご連絡ください。お電話の際は、納品書または出荷伝票をご用意ください。電話番号については、65 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

製品情報

デルが提供しているその他の製品に関する情報が必要な場合や、ご注文になりたい場合は、デルウェブサイト **www.dell.com/jp** をご覧ください。お住まいの地域のセールスの電話番号については、65 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

保証期間中の修理と返品について

修理と返品のいずれの場合も、返送するものをすべて用意してください。

1. はじめにデルの営業担当者にご連絡ください。返品番号をお知らせいたしますので梱包する箱の外側にはっきりとよくわかるように書き込んでください。

   電話番号については、65 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。納品書のコピーと返品理由を記入した書面を同梱してください。

2. 実行したテストと Dell Diagnostics（診断）プログラム（65 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）から出力されたエラーメッセージを記入した診断チェックリスト（64 ページの「診断チェックリスト」を参照）のコピーを同梱してください。
3. 修理や交換ではなく費用の支払いを希望される場合は、返品する製品のアクセサリ（電源ケーブル、ソフトウェアフロッピーディスク、マニュアルなど）も同梱してください。
4. 返品一式を出荷時のシステム梱包箱か同等の箱に梱包してください。

送料はお客様のご負担となります。また、お客様には返品する製品を保証する責任があり、デルへの搬送中に紛失する恐れも想定されます。着払いでの返品はお受けできません。

上記要件のいずれかを欠く返品は受け付けられず、返送扱いとなります。

お問い合わせになる前に

メモ：お電話の際は、エクスプレスサービスコードをご用意ください。エクスプレスサービスコードを利用すると、デルのオートテレフォンシステムによって、より迅速にサポートが受けられます。また、サービスタグ（コンピュータの背面または底部にあります）が必要な場合もあります。

診断チェックリストに前もってご記入ください（64 ページの「診断チェックリスト」を参照）。デルへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をおかけください。キーボードからのコマンドの入力、操作時の詳細情報の説明、またはコンピュータ自体でのみ可能な他のトラブルシューティング手順の試行をお願いする場合があります。システムのマニュアルがあることを確認してください。

警告：コンピュータ内部の作業を始める前に、コンピュータに付属のマニュアルに記載されている「安全にお使いいただくために」をお読みください。

診断チェックリスト

名前：

日付：

住所：

電話番号：

サービスタグナンバー（コンピュータ背面または底面のバーコードの番号）：

エクスプレスサービスコード：

返品番号（デルサポート担当者から提供された場合）：

オペレーティングシステムとバージョン：

周辺機器：

拡張カード：

ネットワークに接続されていますか？はい　いいえ

ネットワーク、バージョン、ネットワークアダプタ：

プログラムとバージョン：

オペレーティングシステムのマニュアルを参照して、システムの起動ファイルの内容を確認してください。コンピュータにプリンタを接続している場合、各ファイルを印刷します。印刷できない場合、各ファイルの内容を記録してからデルにお問い合わせください。

エラーメッセージ、ビープコード、または診断コード：

問題点の説明と実行したトラブルシューティング手順：

デルへのお問い合わせ

米国にお住まいの方は、800-WWW-DELL（800-999-3355）までお電話ください。

メモ：お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデル製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。提供状況は国や製品ごとに異なり、地域によってはご利用になれないサービスもあります。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1 **support.jp.dell.com** にアクセスし、ページ下部の**国・地域の選択**ドロップダウンメニューでお住まいの国 / 地域を確認します。

2 ページ左側の**お問い合わせ**をクリックし、目的に合ったサービスまたはサポートリンクを選択します。

3 ご都合の良いお問い合わせの方法を選択します。

索引

D

F

P

S

W

あ

い

う

え

お

か

こ

さ

し

せ

そ

て

と

の

ひ

ふ

ま

め

も